

平成30年度 各専門部会 活動目標及び取組内容について

【相談部会】 相談支援体制の充実

活動理念目的	誰もが自分らしく安心して暮らせる街を作る
活動目標	1. 本人のニーズをきちんと聞き取るためのアセスメント力を向上させる
	2. 相談実態報告を通じて、分析、課題の抽出をする
	3. サービス提供事業所との顔の見える関係作り
取組内容	①毎月実態報告
	②相談事案の中で困難ケースがあれば随時事例検討をする
	③アセスメント向上のための研修会
	③課題解決のための取組
参加メンバー	特定・一般相談事業所、行政関係機関

【療育支援担当者会】 障がい児支援体制の整備

活動理念目的	障がいのある子どもについて専門的な支援体制の確保
取組内容	医療的ケア児のみの協議の場ではなく、療育関係機関担当者などの協議の場を設置する
想定参加メンバー	障がい児サービス事業所、特別支援学校、行政関係機関(福祉、教育等)

【くらし部会】 地域で生活することを考える

- 福祉施設入所者の地域生活の移行
- 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築
- 地域生活支援拠点等の整備

意向聴き取り 資源見学会WG	計画成果目標	福祉施設入所者の地域生活の移行
	活動理念目的	入所施設からの地域移行を進めて、本人が希望する生活を実現する
	活動目標	意向聴き取り、資源見学会を通し、本人・家族が地域移行に安心して取り組める情報提供を目指す
	取組内容	①意向聴き取り調査を検証し、地域移行が実現できる手立てを考える
		②本人・家族が安心して地域生活にチャレンジできる情報の提供
		③意向聴き取り調査に基づいて施設や相談支援事業所が活動できるシステム作り
	④参加者が満足できる資源見学会の実施	
参加メンバー	特定・一般計画相談事業所、入所施設、グループホーム	
研修 ケース会議WG	計画成果目標	福祉施設入所者の地域生活の移行
	活動理念目的	入所施設からの地域移行を進めて、本人が希望する生活を実現する
	活動目標	本人の希望する生活を進めるため、地域や資源、支援者の課題を分析する
	取組内容	①H29度の聴き取り調査、資源見学会に参加された方を対象に、本人や取り巻く環境等のケース会議を行う
		②伊賀圏域の関係機関が一堂に会し、地域で暮らし続けるための研修会を企画・開催する
参加メンバー	特定・一般計画相談事業所、入所施設、グループホーム、行政機関	

地域生活支援拠点整備WG	計画成果目標	地域生活支援拠点の整備
	活動理念目的	地域生活における生活の安心感を担保する機能を備える。障がいのある人の地域での生活を支援する
	活動目標	①相談②緊急時の受入れ・対応③体験の機会・場④専門的人材の確保・養成⑤地域の体制づくり
	取組内容	①緊急時の受入れ資源とその体制について
		②体験の場とその稼働体制について具体的に整える
		③相談支援と地域資源の体制を具体的に構築する
④必要な経費シュミレーションを行い予算化していく		
参加メンバー	本年度は行政を中心に協議を行い、必要に応じて関係機関に協力を求める	
社会調査 ケース会議WG	計画成果目標	精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築
	活動理念目的	精神障がい者がいきいきと生活する地域づくり
	活動目標	退院患者が安心して暮らせる地域づくりに向けた話し合いの場を作る
	取組内容	①バスツアー参加者の現状を確認。地域移行・地域生活に必要な要件、課題を抽出するためのケース検討を行う
		②退院患者が安心して暮らすための地域や資源等の現状把握・課題を分析する
		③課題の共有と解決に向けた仮説を立てる
④ピアサポーターの活用を通して地域啓発を行う		
参加メンバー	特定・一般計画相談事業所、病院、家族会、有識者、行政関係機関(三重県、保健所など)	
ヘルパー人材確保 育成WG	活動理念目的	各関係機関の連携 居宅介護等サービスの質・量の向上の取り組み 地域福祉サービスの安定と充実を目的とする
	活動目標	人材の発掘と育成。研修会を開催しヘルパーのスキルアップを目指す。人材募集の働きかけ
	取組内容	①管理者交流会を開催し情報交換等を行う。また、管理者から取り組み内容等を事業所内で伝達共有してもらう
		②事業所間交流会(情報共有、顔の見える関係づくり。同行支援見学、悩み相談等)年二回
		③スキルアップ研修会の開催年二回
		④行事参画し、ヘルパー事業所のことや仕事内容について理解や関心を高め、人材確保の取り組みを行う
⑤ガイドラインの作成チーム・・・昨年度から継続。本年度ケアマネの参画予定。今年度完成を目指す		
参加メンバー	居宅介護事業所(6事業所)、行政機関 ※ガイドライン作成については別途関係機関に協力を求める	

【就労部会】働くことを考える

●福祉施設から一般就労

必要に応じてWG	活動理念目的	就労ステージ(雇用の場と就労福祉サービス)の多様な環境を整え、積極的な社会参画ができる地域を構築していく
	活動目標	福祉から就労に向けた計画的推進と障がい者の雇用促進に向けた啓発と促進
	計画成果目標	福祉施設から一般就労への移行
	取組内容	①福祉から就労への移行に係る検討
		②障がい者の雇用促進に向けた企業への啓発
参加メンバー	障がい者就業・生活支援センター、公共職業安定所、特別支援学校、就労支援事業所、行政関係機関	